

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	福岡医療専門学校
設置者名	学校法人福岡医療学院

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
医療専門課程	柔道整復科	夜・通信	17 単位	9 単位	
	鍼灸科	夜・通信	15 単位	9 単位	
	理学療法科	夜・通信	12 単位	12 単位	
	診療放射線科	夜・通信	13 単位	9 単位	
	看護科	夜・通信	13 単位	9 単位	
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

本校ホームページ： <a href="https://www.jusei.ac.jp/outline/hyoka.html">https://www.jusei.ac.jp/outline/hyoka.html</a>
---

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	福岡医療専門学校
設置者名	学校法人福岡医療学院

1. 理事（役員）名簿の公表方法

ホームページの「理事会名簿」において公表する。  
URL: <https://www.jusei.ac.jp/outline/hyoka.html>

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	元警視庁交通部監理官 元交通システム管理会社 会長	2022.4.1 ~ 2023.3.31	人材教育及び学校運 営全般に関わる指導 管理を法人運営に取り 入れる役割が期待 される。
非常勤	市議会議員	2022.4.1 ~ 2023.3.31	適切な法務が運用さ れているかを管理す る役割が期待され る。
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	福岡医療専門学校
設置者名	学校法人福岡医療学院

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。	
(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要) 教育課程編成委員会等にてカリキュラムの内容、到達目標等についての見直しを行う。それを踏まえ担当教員を中心に授業計画書を作成する。4月頃に授業計画書を学生に配布し、同時期に学校ホームページ上で公開する。	
授業計画書の公表方法	<a href="https://www.jusei.ac.jp/outline/hyoka.html">https://www.jusei.ac.jp/outline/hyoka.html</a>
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	
(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要) 各授業科目は定期試験、レポート等により客観的かつ厳正に評価を行っている。評価は0～100点にて行い、授業科目の学修成果を把握している。また、単位の認定は成績判定会議を行い決定している。	

<p>3. 成績評価において、G P A等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p>	
<p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>各授業科目は定期試験、レポート等により客観的かつ厳正に評価を行っている。評価は0～100点にて行い、授業科目の学修成果を把握している。また、単位の認定は成績判定会議を行い決定している。本校での授業科目は各学科の養成校指定(認定)規則により、免除される科目以外はすべて必修であり、当該学科・学年における履修科目に大きな差はない。そのため成績の分布については受講科目の点数を平均して順位を算出し、クラス内の相対的習熟度(順位)を把握し、指導を実施している。</p>	
<p>客観的な指標の算出方法の公表方法</p>	<p><a href="https://www.jusei.ac.jp/outline/hyoka.html">https://www.jusei.ac.jp/outline/hyoka.html</a></p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p>	
<p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>学則第21条において、学則第10条(成績評価)に定める授業科目の成績評価に基づいて、校長は課程修了の認定を行う。また所定の修業年限以上に在学し、課程を修了したと認められた者には、卒業証書を授与する。この内容については、ホームページで公開している。</p>	
<p>卒業の認定に関する方針の公表方法</p>	<p><a href="https://www.jusei.ac.jp/outline/hyoka.html">https://www.jusei.ac.jp/outline/hyoka.html</a></p>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	福岡医療専門学校
設置者名	学校法人福岡医療学院

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	<a href="https://www.jusei.ac.jp/outline/hyoka.html">https://www.jusei.ac.jp/outline/hyoka.html</a>
収支計算書又は損益計算書	<a href="https://www.jusei.ac.jp/outline/hyoka.html">https://www.jusei.ac.jp/outline/hyoka.html</a>
財産目録	<a href="https://www.jusei.ac.jp/outline/hyoka.html">https://www.jusei.ac.jp/outline/hyoka.html</a>
事業報告書	<a href="https://www.jusei.ac.jp/outline/hyoka.html">https://www.jusei.ac.jp/outline/hyoka.html</a>
監事による監査報告（書）	<a href="https://www.jusei.ac.jp/outline/hyoka.html">https://www.jusei.ac.jp/outline/hyoka.html</a>

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		医療専門課程	柔道整復科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	2760 単位時間/ 単位	1575 時間	390 時間	180 時間	0 時間	615 時間
			2760 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
180人		149人	0人	17人	23人	40人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載したシラバスを作成しホームページ上で公開する。
成績評価の基準・方法
（概要） 各科目の成績は100点満点とし、定期試験及びその他の各種資料（定期試験以外の試験、学習態度、出席状況等）に基づいて決定する。原則として60点以上を合格とする。実技実習、臨床実習の成績についても同様とする。
卒業・進級の認定基準
（概要） 学年末において、各学期末に行う試験、実習の成果、履修状況等を総合的に勘案して行う。ただし、出席時数が授業時数の3分の2に達しない者は、その科目について評価を受けることができない。毎学年ごと授業日数の3分の1以上欠席したものは進級、卒業せしめないものとする。
学修支援等

(概要) クラス運営は複数担任制を導入している。出席状況、補充指導等をとおして日々の状況をクラス担任が把握し、保護者との連携を密に取り対応している。また学生支援室を設置し、学生相談の場として万全なフォロー体制を構築している。さらに附属クリニックにおける専門医の健康相談等の場を設けている。
---

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）

卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
38人 (100%)	5人 (13.2%)	33人 (86.8%)	0人 (0%)

整骨院：いつつぼし整骨院、伊都整骨院、エニタイムフィットネス水巻店、おはな整骨院、介正鍼灸整骨院、きくち整骨院、塚整骨院 荒尾院、佐々木整骨院、佐々木整骨院・鍼灸院、城南スポーツ整骨院鍼灸マッサージ院、禅院整骨院、ソリデンテ南青山、たんぼぼはりきゅう整骨院、でづか整骨院、なかの鍼灸整骨院、なぎさ整骨院、希整骨院、馬場整骨院、東比恵スポーツ整骨院、松山整骨院、よしだクリニック、りきたけ整骨院、六花鍼灸整骨院、NAOSEL 整骨院等

(就職指導内容)  
 就職支援室を中心とした就職支援・指導を実施している。セミナー・講座を開催し、履歴書の書き方、面接の受け方など具体的な指導を行っている。医療機関等からの協力によりインターンシップを実施し、学生に対し職業に従事する動機づけを行っている。

(主な学修成果（資格・検定等）)

資格・検定名	受験者数	合格者数
柔道整復師国家資格	38人	36人
JATI-ATI	13人	13人

(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状

年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
169人	23人	13.6%

(中途退学の主な理由)

経済的事由  
 成績不良

(中退防止・中退者支援のための取組)

奨学金や教育ローンの拡充をはかり、経済的困難な学生のサポートに努めている。入学予定者に対するサポートデスクを立ち上げ、入学までの学力向上を図っている。複数担任制を導入し、学生へのきめ細やかなサポートを継続している。

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士
医療	医療専門課程	鍼灸科	○	
休業	昼夜	全課程の修了に必要な総	開設している授業の種類	

年限		授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	2685 単位時間／単位	2025 時間	0 時間	180 時間	0 時間	480 時間
			2685 単位時間				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
180人	137人	0人	9人	16人	25人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載したシラバスを作成しホームページ上で公開する。
成績評価の基準・方法
（概要） 各科目の成績は100点満点とし、定期試験及びその他の各種資料（定期試験以外の試験、学習態度、出席状況等）に基づいて決定する。原則として60点以上を合格とする。実技実習、臨床実習の成績についても同様とする。
卒業・進級の認定基準
（概要） 学年末において、各学期末に行う試験、実習の成果、履修状況等を総合的に勘案して行う。ただし、出席時数が授業時数の3分の2に達しない者は、その科目について評価を受けることができない。毎学年ごと授業日数の3分の1以上欠席したものは進級、卒業せしめないものとする。
学修支援等
（概要） クラス運営は複数担任制を導入している。出席状況、補充指導等をとおして日々の状況をクラス担任が把握し、保護者との連携を密に取り対応している。また学生支援室を設置し、学生相談の場として万全なフォロー体制を構築している。さらに附属クリニックにおける専門医の健康相談等の場を設けている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
29人 (100%)	5人 ( 17.2%)	24人 ( 82.8%)	0人 ( 0%)
（主な就職、業界等） 鍼灸院：小原歯科鍼灸整骨クリニック、銀座ハリッチ、心整骨院・鍼灸院、彩美堂鍼灸治療院、堺整形外科医院、佐々木整骨院、てづか整骨院、徳田整骨院、のりさだ整骨院 酒殿院、美容鍼灸サロン acune、福岡平尾鍼灸整骨院、ふるかわ整骨院、松岡整骨院、モアはりきゅう整骨院、リカバリー鍼灸院整骨院 六本松院、六花鍼灸整骨院、わだち整骨院グループ、Activa カイロ鍼灸院等			
（就職指導内容） 就職支援室を中心とした就職支援・指導を実施している。セミナー・講座を開催し、履歴書の書き方、面接の受け方など具体的な指導を行っている。医療機関等からの協力によりインターンシップを実施し、学生に対し職業に従事する動機づけを行っている。			

(主な学修成果 (資格・検定等))		
資格・検定名	受験者数	合格者数
はり師師国家試験	29人	28人
きゅう師国家試験	29人	29人
JATI-ATI	4人	4人

(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
139人	6人	4.3%
(中途退学の主な理由) 経済的事由 成績不良		
(中退防止・中退者支援のための取組) 奨学金や教育ローンの拡充をはかり、経済的困難な学生のサポートに努めている。 入学予定者に対するサポートデスクを立ち上げ、入学までの学力向上を図っている。 複数担任制を導入し、学生へのきめ細やかなサポートを継続している。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		医療専門課程	理学療法科		○		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な 総授業時数又は総単位 数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
4年	昼	3430 単位時間／単位	2331 時間	114 時間	835 時間	0 時間	642 時間
			3922 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
320人		257人	0人	11人	26人	37人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載したシラバスを作成しホームページ上で公開する。
成績評価の基準・方法
（概要） 各科目の成績は100点満点とし、定期試験及びその他の各種資料（定期試験以外の試験、学習態度、出席状況等）に基づいて決定する。原則として60点以上を合格とする。実技実習、臨床実習の成績についても同様とする。
卒業・進級の認定基準
（概要） 学年末において、各学期末に行う試験、実習の成果、履修状況等を総合的に勘案して行う。ただし、出席時数が授業時数の3分の2に達しない者は、その科目について評価を受けることができない。毎学年ごと授業日数の3分の1以上欠席したものは進級、卒業せしめないものとする。
学修支援等
（概要） クラス運営は複数担任制を導入している。出席状況、補充指導等をとおして日々の状況をクラス担任が把握し、保護者との連携を密に取り対応している。また学生支援室を設置し、学生相談の場として万全なフォロー体制を構築している。さらに附属クリニックにおける専門医の健康相談等の場を設けている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
52人 (100%)	0人 (0%)	52人 (100%)	0人 (0%)
（主な就職、業界等） 病院・介護施設等：赤羽岩淵病院、石井リハビリクリニック、石津病院、井上病院、運動療育センターすきっぷ、大阪たつみ病院、貝塚病院、鹿児島県立病院、北九州病院、黒木記念病院、小平中央リハビリテーション病院、五反田病院、佐賀県済生会唐津病院、桜十字福岡病院、佐世保記念病院、新吉塚病院、誠愛リハビリテーション病院、聖和病院、西尾病院、博多ひざスポーツクリニック、博多メディカルクリニック、馬場記念病院、福岡輝栄会病院、福岡脳神経外科病院、福田病院、まつもと整形外科クリニック、水戸病院、			

南川整形外科病院、牟田病院、諸岡整形外科クリニック等									
(就職指導内容) 就職支援室を中心とした就職支援・指導を実施している。セミナー・講座を開催し、履歴書の書き方、面接の受け方など具体的な指導を行っている。医療機関等からの協力によりインターンシップを実施し、学生に対し職業に従事する動機づけを行っている。									
(主な学修成果 (資格・検定等) )									
<table border="1"> <thead> <tr> <th>資格・検定名</th> <th>受験者数</th> <th>合格者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>理学療法士国家資格</td> <td>57 人</td> <td>56 人</td> </tr> <tr> <td>JATI-ATI</td> <td>22 人</td> <td>22 人</td> </tr> </tbody> </table>	資格・検定名	受験者数	合格者数	理学療法士国家資格	57 人	56 人	JATI-ATI	22 人	22 人
資格・検定名	受験者数	合格者数							
理学療法士国家資格	57 人	56 人							
JATI-ATI	22 人	22 人							
(備考) (任意記載事項)									

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
303 人	56 人	18.5%
(中途退学の主な理由) 経済的事由 成績不良		
(中退防止・中退者支援のための取組) 奨学金や教育ローンの拡充をはかり、経済的困難な学生のサポートに努めている。入学予定者に対するサポートデスクを立ち上げ、入学までの学力向上を図っている。複数担任制を導入し、学生へのきめ細やかなサポートを継続している。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		医療専門課程	診療放射線科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	3000 単位時間／単位	1860 時間	420 時間	540 時間	150 時間	30 時間
			3000 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
150人		171人	1人	13人	16人	29人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載したシラバスを作成しホームページ上で公開する。
成績評価の基準・方法
（概要） 各科目の成績は100点満点とし、期試験及びその他の各種資料（定期試験以外の試験、学習態度、出席状況等）に基づいて決定する。原則として60点以上を合格とする。実技実習、臨床実習及び体育実技の成績についても同様とする。
卒業・進級の認定基準
（概要） 学年末において、各学期末に行う試験、実習の成果、履修状況等を総合的に勘案して行う。ただし、出席時数が授業時数の3分の2に達しない者は、その科目について評価を受けることができない。毎学年ごと授業日数の3分の1以上欠席したものは進級、卒業せしめないものとする。
学修支援等
（概要） クラス運営は複数担任制を導入している。出席状況、補充指導等をとおして日々の状況をクラス担任が把握し、保護者との連携を密に取り対応している。また学生支援室を設置し、学生相談の場として万全なフォロー体制を構築している。さらに附属クリニックにおける専門医の健康相談等の場を設けている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
33人 (100%)	0人 (0%)	33人 (100%)	0人 (0%)
（主な就職、業界等） 病院等：朝日野会総合病院、天草第一病院、医誠会病院、伊万里整形外科病院、奥沢病院、貝塚病院、柿添病院、神戸平成病院、済生会長崎病院、佐賀市立富士大和温泉病院、さく病院、新座病院、新生病院、桑陽病院、種子島医療センター、地域医療機能推進機構近畿四国地区、戸塚共立第1病院、戸塚共立第2病院、長崎腎病院、西尾病院、西福岡病院、ニュー琴海病院、原病院、福田病院、北総白井病院、北部地区医師会病院、牧野記念病院、山口労災病院、山元記念病院、洛西ニュータウン病院、洛和会音羽病院等			
（就職指導内容）			

<p>就職支援室を中心とした就職支援・指導を実施している。セミナー・講座を開催し、履歴書の書き方、面接の受け方など具体的な指導を行っている。医療機関等からの協力によりインターンシップを実施し、学生に対し職業に従事する動機づけを行っている。</p>								
<p>(主な学修成果 (資格・検定等))</p>								
<table border="1"> <thead> <tr> <th>資格・検定名</th> <th>受験者数</th> <th>合格者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>診療放射線技師 国家資格</td> <td>43 人</td> <td>43 人</td> </tr> </tbody> </table>			資格・検定名	受験者数	合格者数	診療放射線技師 国家資格	43 人	43 人
資格・検定名	受験者数	合格者数						
診療放射線技師 国家資格	43 人	43 人						
<p>(備考) (任意記載事項)</p>								

<p>中途退学の現状</p>		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
163 人	22 人	13.5%
<p>(中途退学の主な理由) 経済的事由 成績不良</p>		
<p>(中退防止・中退者支援のための取組) 奨学金や教育ローンの拡充をはかり、経済的困難な学生のサポートに努めている。入学予定者に対するサポートデスクを立ち上げ、入学までの学力向上を図っている。複数担任制を導入し、学生へのきめ細やかなサポートを継続している。</p>		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		医療専門課程	看護科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	3000 単位時間／単位	1935 時間	0 時間	1035 時間	0 時間	30 時間
			3000 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
240人		219人	0人	13人	49人	62人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要）</p> <p>授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載したシラバスを作成しホームページ上で公開する。</p>
成績評価の基準・方法
<p>（概要）</p> <p>各科目の成績は100点満点とし、定期試験及びその他の各種資料（定期試験以外の試験、学習態度、出席状況等）に基づいて決定する。原則として60点以上を合格とする。実技実習、臨地実習及び体育実技の成績についても同様とする。</p>
卒業・進級の認定基準
<p>（概要）</p> <p>学年末において、各学期末に行う試験、実習の成果、履修状況等を総合的に勘案して行う。ただし、出席時数が授業時数の3分の2に達しない者は、その科目について評価を受けることができない。毎学年ごと授業日数の3分の1以上欠席したものは進級、卒業せしめないものとする。</p>
学修支援等
<p>（概要）</p> <p>クラス運営は複数担任制を導入している。出席状況、補充指導等をとおして日々の状況をクラス担任が把握し、保護者との連携を密に取り対応している。また学生支援室を設置し、学生相談の場として万全なフォロー体制を構築している。さらに附属クリニックにおける専門医の健康相談等の場を設けている。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
30人 (100%)	1人 ( 3.3%)	29人 ( 96.7%)	0人 ( 0%)
<p>（主な就職、業界等）</p> <p>病院等：上尾中央総合病院、いまきいれ総合病院、岡部病院、神戸赤十字病院、佐世保共済病院、新座志木中央総合病院、つくし会病院、土谷総合病院、奈良県立病院機構、西福岡病院、のぞえ総合心療病院、福岡記念病院、福西会病院、牧野リハビリテーション病院、牟田病院、諸岡整形外科病院、TMG あさか医療センター等</p>			

(就職指導内容) 就職支援室を設置し、担当の副校長、学科長を中心とした就職支援・指導を実施している。セミナー・講座を開催し、履歴書の書き方、面接の受け方など具体的な指導を行っている。医療機関等からの協力によりインターンシップを実施し、学生に対し職業に従事する動機づけを行っている。		
(主な学修成果 (資格・検定等) )		
資格・検定名	受験者数	合格者数
看護師国家資格	30人	29人
(備考) (任意記載事項) 2020年4月定員40名を80名に増員		

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
241人	26人	10.8%
(中途退学の主な理由) 経済的事由 成績不良		
(中退防止・中退者支援のための取組) 奨学金や教育ローンの拡充をはかり、経済的困難な学生のサポートに努めている。入学予定者に対するサポートデスクを立ち上げ、入学までの学力向上を図っている。複数担任制を導入し、学生へのきめ細やかなサポートを継続している。		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
柔道整復科	20 万円	80 万円	60 万円	
鍼灸科	20 万円	80 万円	60 万円	
理学療法科	20 万円	50 万円	70 万円	
診療放射線科	20 万円	80 万円	70 万円	
看護科	20 万円	80 万円	70 万円	
修学支援 (任意記載事項)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) ホームページにて公表 <a href="https://www.jusei.ac.jp/outline/hyoka.html">https://www.jusei.ac.jp/outline/hyoka.html</a>		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制) 自己点検・自己評価結果について学校職員以外の関係者による評価を行う。学校関係者評価委員会を設置し、年1回以上委員会を開催する。評価委員会は、学校運営の改善を目的としており、企業等の役員又は職員、地域住民、業界等の代表7名で構成される。また委員会では、自己点検・自己評価に基づき、教育理念、学校運営、学修成果等について評価をして頂く。その評価については、理事長、事務長、副校長、学科長等で共有し、毎月実施される教職員会議において全教職員に周知させ、学校運営の改善に努める。評価内容は報告書にまとめ、ホームページ上で公開する。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
朝日ホーム有限会社 顧問	令和4年4月1日～ 令和5年3月31日 (1年)	地域住民
福岡医療専門学校 非常勤講師	令和4年4月1日～ 令和5年3月31日 (1年)	有識者
(株) 堺整骨院西 代表取締役	令和4年4月1日～ 令和5年3月31日 (1年)	卒業生 (4期生)
株式会社 INTERACTION 代表取締役	令和4年4月1日～ 令和5年3月31日 (1年)	企業等委員
医療法人西福岡病院 放射線科	令和4年4月1日～ 令和5年3月31日 (1年)	企業等委員
はり灸院・整骨院・整体院 Re. 庵	令和4年4月1日～ 令和5年3月31日 (1年)	卒業生 (10期生)
医療法人正明会 諸岡整形外科病院 看護部長	令和4年4月1日～ 令和5年3月31日 (1年)	企業等委員
学校関係者評価結果の公表方法		

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) ホームページにて公表 <a href="https://www.jusei.ac.jp/outline/hyoka.html">https://www.jusei.ac.jp/outline/hyoka.html</a>
第三者による学校評価 (任意記載事項)
評価団体名：特定非営利活動法人 私立専門学校等評価研究機構 受審年月：平成 29 年 3 月 一般財団法人リハビリテーション教育評価機構 受審年月：令和 3 年 3 月

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) ホームページ： <a href="https://www.jusei.ac.jp/">https://www.jusei.ac.jp/</a> 学校案内 募集要項
--

(別紙)

※この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄について、該当する人数が 1 人以上 10 人以下の場合には、当該欄に「-」を記載すること。該当する人数が 0 人の場合には、「0 人」と記載すること。

学校名	福岡医療専門学校
設置者名	学校法人福岡医療学院

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者 (家計急変による者を除く)		113 人	108 人	121 人
内 訳	第Ⅰ区分	56 人	57 人	
	第Ⅱ区分	36 人	36 人	
	第Ⅲ区分	21 人	15 人	
家計急変による支援対象者 (年間)				0 人
合計 (年間)				121 人
(備考)				

※本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令 (令和元年政令第 49 号) 第 2 条第 1 項第 1 号、第 2 号、第 3 号に掲げる区分をいう。

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等		
	年間	前半期	後半期
短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）			
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	－人	人	人
修得単位数が標準単位数の5割以下 (単位制によらない専門学校にあつては、履修科目の単位時間数が標準時間数の5割以下)	0人	人	人
出席率が5割以下その他学修意欲が著しく低い状況	0人	人	人
「警告」の区分に連続して該当	0人	人	人
計	－人	人	人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であつて、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遑つて認定の効力を失つた者の数

右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）
---------	---

年間	0人	前半期	0人	後半期	0人
----	----	-----	----	-----	----

- (3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
3月以上の停学	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のもの に限り、認定専攻科を含む。）、 高等専門学校（認定専攻科を含 む。）及び専門学校（修業年限が 2年以下のものに限る。）		
	年間	前半期	後半期	
修得単位数が標準単位数	0人	人	人	

の6割以下 (単位制によらない専門学校に あつては、履修科目の単位時間 数が標準時間数の6割以下)			
G P A等が下位4分の1	一人	人	人
出席率が8割以下その他 学修意欲が低い状況	0人	人	人
計	一人	人	人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。